



発音が似ている言葉の聞き取りを間違えると、文全体の意味がわからなくなることがあります。「ち」や小さい「つ」「や／ゆ／よ」で表す音、「ん」や長音(おかあさん／こーひー)など、間違えやすい音とともに、アクセントやイントネーションなどに気をつけて聞きましょう。

練習 1

文を聞いてください。どちらですか。 (A 07)

- (例) ああ、(a 器用 b 今日) ですね。
- (1) それは(a 他人 b 担任) のです。
- (2) 病院に(a 感謝 b 患者) の声が届けられた。
- (3) それは(a 乱暴 b 暖房) です。
- (4) (a 損を b そう) したくないんです。
- (5) (a 見つかったら b 3つ買ったら) いいね。
- (6) 種類は(a 約30 b 130) あります。
- (7) 今日は(a 早退 b 招待) します。
- (8) この(a マイク b マーク) を使おう。
- (9) この文は(a 訳して b 略して) あるんです。
- (10) これは(a データ通信 b データ中心) のプログラムです。



話すときは音が省略されたり、書いたものとは違った音になったりすることがあります。特に親しい人との話し方に多いです。また、組み合わせざったり、形が変わったりしたときの音にも気をつけます。

へんか かたち しゆくやくけい 変化した形・縮約形	もと かたち 元の形
「～って」 例 行く <u>っ</u> て言った／「ロコモコ」 <u>っ</u> て店	「～と」「～という」 例 行く <u>と</u> 言った／「ロコモコ」 <u>と</u> いう店
「～っか」 例 行 <u>こ</u> っか／ <u>た</u> べ <u>よ</u> っか／ <u>そ</u> っか	「～うか」 例 行 <u>こ</u> うか／ <u>た</u> べ <u>よ</u> うか／ <u>そ</u> うか
「っ」 例 <u>あ</u> っ <u>た</u> かい／ <u>さん</u> か <u>っ</u> けい／ <u>ど</u> っか	「t-t(たた)」「k-k(くけ/こかなど)」 例 <u>あ</u> た <u>た</u> かい／ <u>さん</u> か <u>く</u> けい／ <u>ど</u> こか
「～たげる」「～だげる」 例 <u>か</u> いた <u>た</u> げる／ <u>よ</u> んだ <u>た</u> げる	「～てあげる」「～であげる」 例 <u>か</u> いて <u>あ</u> げる／ <u>よ</u> んで <u>あ</u> げる
「～とこっか」「～どこっか」 例 <u>れんらく</u> し <u>と</u> こっか。	「～ておこうか」「～でおこうか」 例 <u>れんらく</u> し <u>て</u> おこうか。
「～とかない」「～どかない」 例 <u>よ</u> ん <u>ど</u> かない <u>と</u> 。	「～ておかない」「～でおかない」 例 <u>よ</u> ん <u>で</u> おかない <u>と</u> 。
「～てて」「～でて」 例 <u>ま</u> っ <u>た</u> てて／ <u>あそ</u> んで <u>て</u>	「～ていて」「～でいて」 例 <u>ま</u> っ <u>た</u> て <u>い</u> て／ <u>あそ</u> んで <u>い</u> て
「～てって」「～でてって」 例 <u>か</u> っ <u>た</u> て <u>て</u> ／ <u>の</u> んで <u>て</u>	「～ていって」「～でいって」 例 <u>か</u> っ <u>た</u> て <u>い</u> て／ <u>の</u> んで <u>い</u> て
複数の音変化 例 わたし <u>ん</u> ち／ <u>い</u> ろ <u>ん</u> な／ <u>あ</u> そ <u>こ</u> ん <u>と</u> こ	例 わたし <u>の</u> う <u>ち</u> ／ <u>い</u> ろ <u>い</u> ろ <u>な</u> ／ <u>あ</u> そ <u>こ</u> の <u>と</u> こ <u>ろ</u>
長音(2拍) 例 めー／てー／かー／どー／はー／えー／にー／ごー	短音(1拍) 例 め／手／火／土／は／歯／絵／2／5



れんしゅう
練習 2-1

ぶんをきいて、へんかしたかたちではない、もとのかたちをかき書いてください。A08

- (例) あのこ、きいておいてくれた？
- (1) ねえ、？
- (2) ともちゃんも。
- (3) わる悪いけど、さきいき先行って。
- (4) せき席、。
- (5) ここにサイン、でしょう？
- (6) これ、。
- (7) せっかくだから、。
- (8) おとうさんが、。
- (9) このこと、せんせい先生に。
- (10) あめふ雨降りそう。。

れんしゅう
練習 2-2

ぶんをきいて、それに対するたいへんじぶんき返事の文を聞き、もつともつよいものを選んできて下さい。A09

- (例) (a b ㉔)
- (1) (a b c)
- (2) (a b c)
- (3) (a b c)
- (4) (a b c)
- (5) (a b c)
- (6) (a b c)
- (7) (a b c)
- (8) (a b c)
- (9) (a b c)
- (10) (a b c)

さいしよ ぶん き
最初の文を聞くときは、つぎ ような 点 に注意して聞きます。

- だれが (話し手と聞き手のどちらが) それをするか
- その話題について話し手はどう思っているか
- その出来事は起こったか、起こっていないか

そのほか、かいわ でよく使われる 表現 やイントネーションに注意して聞くことが大切です。

1-A 「だれがするか」を聞き取る

つか 使われている 表現 に注意して、そのことを「だれがするか」を理解します。

練習 1-A

かいわ き 会話を聞いてください。おとこ ひと おんな ひと はな 男の人が女の人に話しています。だれがしますか。 A10

- 例 持っていく (男・女)
- (1) 注文する (男・女)
- (2) 話す (男・女)
- (3) 書き直す (男・女)
- (4) 使う (男・女)
- (5) どける (男・女)
- (6) 連絡する (男・女・事務の人)

1-B 「話し手はどう思っているか」を聞き取る

いけん ほうこく などの文を理解するときは、その話題について話し手が そうだと思っ
てい
るか、違
うと思
っているかに注意します。意見を言うとき「～(ん)じゃない」がよく使われ
ますが、これはイントネーションによって意味が変わるので、その違いを聞き分けなけれ
ばなりません。

A11 例1 行ったんじゃない。／これじゃなかった。

例2 行ったんじゃない？／これじゃなかった？

例1は「行かなかった」「これではない」という否定の意味で、文末が下がります。例2は
はんたい 反対に「行った」「これだ」という肯定の意味で、文末が上がります。

「～んじゃない」はほかにも次のような形で使われることもあります。

- 彼じゃなかったんじゃないの? = 彼じゃなかったと思う
- あっちじゃないかと思う。 = あっちだと思う
- 断られたんじゃないかと思いますが。 = 断られたと思う

練習 1-B

ぶん き 文を聞いてください。おんな ひと いけん あ 女の人の意見と合うのはどちらですか。 A12

- 例 (田中さんのだ) ・ 田中さんのではない)
- (1) (慎重だ) ・ 慎重ではない)
- (2) (送られてきた) ・ 送られてきていない)
- (3) (ご存じだ) ・ ご存じではない)
- (4) (入っている) ・ 入っていない)
- (5) (田中さんのだった) ・ 田中さんではなかった)
- (6) (取ってあった) ・ 取っていない)
- (7) (だまされた) ・ だまされていない)
- (8) (上手だった) ・ 上手ではなかった)
- (9) (山下さんだ) ・ 山下さんではない)
- (10) (集中していた) ・ 集中していなかった)